

# 教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

ニュース・レター No.171

## JSiSE

発行日 2011年3月31日  
発行所 教育システム情報学会  
発行者 岡本 敏雄  
〒533-0005  
大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101号  
TEL06-6324-7767 FAX06-6324-7767  
<http://www.jsise.org/>  
E-mail : [secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)

## 第36回 JSiSE 全国大会のご案内

### ◆ テーマ ◆

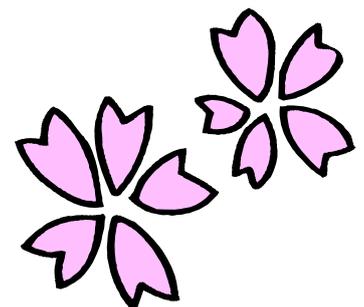
「情報技術で拓く未来への学び – 先進性と実践性の両立に向けて –」

<http://www.lake.info.hiroshima-cu.ac.jp/jsise2011/>

- 開催日時： 2011年8月31日（水）、9月1日（木）、9月2日（金）
- 会 場： 広島市立大学 講義棟など  
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1
- 主 催： 教育システム情報学会  
運 営： 教育システム情報学会中国支部



第36回全国大会のご案内	1-3
2011 第1回研究会 プログラム	4-6
2010 第6回研究会開催報告	7-8
2010 特集論文研究会開催報告	8-9
特集論文募集	10
英文誌論文募集	11
国際会議のご案内	12
2011 研究会開催報告	13
新入会員のご紹介・事務局より	14



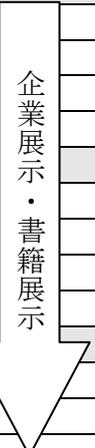
# 第36回 JSiSE 全国大会のご案内

テーマ：「情報技術で拓く未来への学び -先進性と実践性の両立に向けて-」  
<http://www.lake.info.hiroshima-cu.ac.jp/jsise2011/>

- 開催日時： 2011年8月31日(水)、9月1日(木)、9月2日(金)
- 会場： 広島市立大学 講義棟など  
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1
- 主催： 教育システム情報学会                      運営：教育システム情報学会中国支部

## ■ 大会日程

8月31日(水)	
午前	ワークショップ・チュートリアル
昼	開催大学挨拶・基調講演・企業セッション
午後	一般講演
夜	ウエルカムパーティ
9月1日(木)	
午前	一般講演
昼	理事会・総会・特別講演
午後	企画セッション・一般講演
夜	懇親会(広島市内：メルパルク HIROSHIMA)
9月2日(金)	
午前	一般講演
昼	招待講演
午後	公開フォーラム・クロージングセッション

企業展示・書籍展示  


## ■ 講演・参加申込について

大会 Web ページから発表・講演申込いただきます。

- 講演申込開始                      2011年4月15日(金)
- 事前参加申込開始                2011年5月 2日(月)
- 講演申込締切                      2011年5月16日(月)
- 講演原稿提出締切                2011年6月16日(木)
- 事前参加申込締切                2011年7月30日(土)

## ■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員：7,000円(*1)	一般会員：8,000円(*1)
学生会員：3,000円(*1)(*2)	学生会員：4,000円(*1)(*2)
非会員(学生以外)：10,000円	非会員(学生以外)：11,000円
非会員(学生)：5,000円(*2)	非会員(学生)：6,000円(*2)
論文掲載費：1,000円(論文一編につき)	
(*1) 全国大会当日またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は会員料金でお申し込みいただけます。	
(*2) 論文集はついていません。学生証の提示が必要です。論文集は別途3,000円かかります。	
[懇親会費] 一般：6,000円 / 学生：3,000円	[懇親会費] 一般：7,000円 / 学生：4,000円

なお参加費等の支払いは、ニューズレターNo.171に添付の郵便振替用紙をご利用下さい。詳細は大会 Web ページをご覧ください。

■ 講演申込について

一般セッション・および企画セッションを募集いたします。

なお、現在実施が予定されている企画セッションは以下のとおりです。

1. eラーニング環境のデザインと組織マネジメント
2. 医療・看護・福祉分野における ICT 利用の現状と今後の展開
3. ICT を活用した学習支援と教育の質保証
4. 続・教育機関等連携を支援する教育システムの設計・構築・運用
5. 協調的学習とその支援技術
6. ネットワークコンピューティングとこれからの教育・学習環境
7. 教育の情報化と情報教育

■ ワークショップ，チュートリアルテーマ，オーガナイザの募集

ワークショップ，チュートリアルテーマとそのオーガナイザを公募いたします。

メールにて大会事務局宛にお申し出ください（締切：6月16日（木））。

詳細は大会 Web ページをご覧ください。

■ 企業展示・広告の募集

企業展示・広告を募集いたします。メールにて大会事務局宛にお申し込みください。

詳細は大会 Web ページをご覧ください。

■ 大会事務局

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1

広島市立大学 情報科学研究科 知能工学専攻 松原研究室内

教育システム情報学会 第36回全国大会 事務局

E-mail: [jsise2011@lake.info.hiroshima-cu.ac.jp](mailto:jsise2011@lake.info.hiroshima-cu.ac.jp)

# 教育システム情報学会(JSiSE) 2011 年度第 1 回研究会 プログラムのご案内

教育システム情報学会（研究会委員会）

担当：仲林 清，石打智美，松居辰則，北村士朗

■テーマ：e ラーニング環境のデザインと組織マネジメント／  
医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般

■開催日時：2011 年 5 月 27 日（金） 10:00～18:40（19:00～ 懇親会）  
5 月 28 日（土） 9:30～12:10

■会 場：キャンパスイノベーションセンター（東京都港区芝浦 3-3-6）  
5 月 27 日：5 階 509，5 月 28 日：1 階国際会議場 ※27 日と 28 日で部屋が異なります  
<http://www.cictokyo.jp/access.html>  
JR 山手線 田町駅，都営地下鉄 三田線・浅草線 三田駅 各徒歩 5 分

## ■主 旨：

本年度第 1 回研究会は、「e ラーニング環境のデザインと組織マネジメント／医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般」のテーマで実施いたします。

「e ラーニング環境のデザインと組織マネジメント」に関しては、e ラーニングを複合的な教育研修メディアと捉える立場から、単なる Web による教材配信にとどまらず、企業や大学における人材開発や組織マネジメントとの連携、学習コンテンツ設計、インストラクショナルデザイン、品質評価、学習者支援、ブレンデッドラーニング、インフォーマルラーニングなどの方法論、e ラーニングツール、システム、実践環境に関する提案・開発・応用など幅広いトピックスに関するご発表を募集いたします。

「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」に関しては、これまで、人を対象とするこの分野には、コンピュータなどの ICT の活用はなじまないとされてきました。しかし、一方では、マルチメディアを活用した e ラーニングが多くの医療系大学や病院などに導入され、ICT を活用して膨大な知識の効率的な学習、新しい知識の定着、医療・看護技術の習得などで、高い学習効果が得られたことが報告されています。また、医療人育成のために体系化された教育プログラムにこそ e ラーニングや ICT の活用が効果的である、との声も聞かれるようになってきました。そこで本研究会では、医療・看護・福祉分野において求められている高い実践能力をもつ人材の育成やナレッジマネジメント、学習者支援、学習コンテンツの設計、インストラクショナルデザイン、医療サービスの質保証ならびに質評価、e ラーニング教材制作、臨床や教育機関での実践・運営環境、著作権処理に関する様々なトピックを扱い、この分野における専門職教育に必要な知識や技能を習得するための ICT 活用教育方法について、議論を進めていきたいと思えます。

また、今回、熊本大学 教授システム学専攻 鈴木克明教授に特別講演をお願いいたしました。こちらもし唆に富んだお話しが期待されます。多くの方々のご参加をお待ちしております。

■参加費：無料（資料代 1000 円）

## ■参加申込み：

以下の事項を電子メールにてお送りください。当日の受付も可能ですが、人数把握の都合上、できるだけ事前の申込をお願いいたします。

申込先：NTT 知的財産センタ 石打智美 E-mail: [ishiuchi.satomi@lab.ntt.co.jp](mailto:ishiuchi.satomi@lab.ntt.co.jp)

==== ここから ====

JSiSE 2011 年度第 1 回研究会に参加します

1. 氏名
2. 所属
3. 電子メールアドレス
4. 懇親会に 参加する ・ 参加しない（一方を残してください）

5 月 27 日（金）研究会終了後、懇親会を開催する予定です。会費は 4～5000 円の予定です。

==== ここまで ====

■□■□プログラム□■□■

発表時間：原稿有り 25 分（発表 17 分，質疑 8 分），原稿無し 20 分（※印，発表 15 分，質疑 5 分）  
※会場が 27 日と 28 日で異なります。ご注意ください。

**5 月 27 日（金）** 会場：キャンパスイノベーションセンター5階 509

【セッション 1】 10:00~12:05（5 件）

1. アメリカ製デスク・トップ・スタジオ(CATV局用・WebTV局用)のeラーニング・スタジオへの転用  
大塚意生（日本メディア教育株式会社）
2. スライドとの同期による講義映像データベースの構築  
○柳沼良知・鈴木一史・児玉晴男（放送大学）
3. VOD のアノテーションを共有するシステムを用いた協調自律学習の効果  
○松本 哲（神戸大学）・掘出雅人・西之園晴夫（特定非営利活動法人 学習開発研究所）
4. シミュレータ教材開発のためのモジュール化手法とライブラリ群  
増田孝博（千葉工業大学大学院）・○須田宇宙（千葉工業大学）
5. 大規模プログラム演習における教育サポート環境 ORCA の構築・実践  
○増田孝博（千葉工業大学大学院）・須田宇宙（千葉工業大学）

（昼休み 60 分）

【セッション 2】 13:00~14:15（3 件）

6. 全国調査に基づいた『学生による授業評価』アンケートの質問項目に関する分析  
○菅原 良，永原和夫，松岡審璽，池田官司（北海道文教大学）
7. 試験における適切な ICT の活用について  
劉 東岳（プロメトリック株式会社）
8. 技術イノベーションを主題とするビデオとアンケートシステムを活用した授業実践  
仲林 清（千葉工業大学）

（休憩 10 分）

【セッション 3】 14:25~15:40（3 件）

9. 文系学生に対するプログラミング教育への Moodle の活用  
五月女仁子（神奈川大学）
10. グループワークを支援する ICT デザイン –eラーニングを利用したグループ評価実践報告–  
○根本淳子・上田勇仁・上田公代（熊本大学）
11. 問題解決能力を育成するための薬学型 PBL 支援システム の構築と学習効果  
○大津史子・永松 正・灘井雅行・豊田行康・後藤伸之・平松正行・吉田 勉・小森由美子・長谷川洋一・  
亀井浩行・野田幸裕・森 健（名城大学）

（休憩 10 分）

【セッション 4】 15:50～17:30 (4 件)

12. 看護技術実施時の手指動作再現による学習支援システム  
○真嶋由貴恵 (大阪府立大学)・曾我真人 (和歌山大学)・前川泰子 (大阪府立大学)
13. ベッド・車椅子移乗介助動作学習システムの検討  
○泉 正夫・松村麻記子・真嶋由貴恵・前川泰子 (大阪府立大学)
14. eラーニングを活用した新卒看護師教育方法 –中間看護管理者の人材育成の現状と課題–  
○伊津美孝子 (大阪府済生会茨木病院)・真嶋由貴恵 (大阪府立大学)
15. Gifu Medical Education/e-Learning System の開発と実践 ※  
○丹羽雅之・鈴木康之 (岐阜大学)

(休憩 10 分)

【セッション 5：特別講演】 17:40～18:40

解説論文「教育設計における 3 つの第一原理をめぐって」をめぐって (仮題)  
鈴木克明 (熊本大学)

(19:00～ 懇親会)

5 月 28 日 (土) 会場：キャンパスイノベーションセンター 1 階国際会議場

【セッション 5】 9:30～10:45 (3 件)

16. マルチモーダル環境における視覚情報の触知覚化の検討  
○石川 桂多・林 大作 (千葉工業大学大学院)・遠西 学 (目白大学)・中村 直人 (千葉工業大学)
17. Web ビデオに付与する視覚的に提示可能な付加情報の優先順位と呈示手法の研究  
○大倉孝昭 (総合研究大学院大学／大阪大谷大学)・広瀬洋子・近藤喜美夫・仁科エミ・黒須正明 (総合研究大学院大学／放送大学)
18. シラバス連動による学部授業と eラーニングの有機的統合の試み  
○柴田喜幸・児玉裕美・佐藤亜紀 (産業医科大学)・波田哲朗 (株式会社アクシス)、鈴木克明 (熊本大学)・柴田弘子 (産業医科大学)

(休憩 10 分)

【セッション 6】 10:55～12:10 (3 件)

19. 看護過程での自己学習支援のための eラーニング教材の開発と評価  
○辻 慶子 (北海道文教大学)・小松川浩 (千歳科学技術大学)
20. eラーニングによる未就労看護師のための再就職支援研修システムの開発と評価  
○中村裕美子・真嶋由貴恵・前川泰子・牧野裕子・中嶋有加里・平松瑞子・星 和美・細田泰子 (大阪府立大学)
21. 看護スキルの自己学習支援システムの効果 ※  
○前川泰子・真嶋由貴恵 (大阪府立大学)



- 【セッション4 13:10-15:10】 座長：中村直人（千葉工業大学）
13. eラーニングシステムのテスト問題作成用共通フォーマットと一括変換ユーティリティの開発  
○木原寛，畑篤，牧野久美（富山大学）
  14. ブレンド型授業の設計支援システムの構想  
○清水隼人，宮地功（岡山理科大学）
  15. 大学間連携 eラーニングVODシステムの開発  
坪内伸夫（京都産業大学），○阿部一晴（京都光華女子大学）
  16. VOD講義の字幕における重要語の表示と表現の簡単化  
○椎名広光（岡山理科大学），小林伸行（山陽学園大学），北川文夫（岡山理科大学）
- 【セッション5 15:30-17:00】 座長：藤井美知子（長崎大学）
17. 大学教育における科目デザイン手法のシステム化  
○宇治典貞，横山宏，魚井宏高（大阪電気通信大学）
  18. ティーチング・ポートフォリオ及びテキスト・マイニングの日本語教育への応用  
○宇根谷孝子（立命館アジア太平洋大学）
  19. プレゼンテーション教育でのリフレクションの強化（2）  
ー代行リハーサルとひとりリハーサルの気づきの差異ー  
○村上和繁（大阪電気通信大学），正木幸子（大阪商業大学），松永公廣（摂南大学），  
中村民明（tami 情報教育研究所），岡本久仁子（大阪国際大学），  
岩崎重剛（やる気教育研究所），石桁正士，横山宏（大阪電気通信大学）
- 【セッション6 15:30-17:30】 座長：高橋参吉（千里金蘭大学）
20. 高解像度静止画切り出し機能を有する遠隔講義システムの評価  
○宮入俊太郎，國宗永佳，新村正明，不破泰（信州大学）
  21. 書く過程の提示が可能なプレゼンテーションツールの開発  
○細木秋裕 田中久治 渡辺健次 岡崎泰久（佐賀大学）
  22. 手書きインタフェースを用いたノート指導システムの開発  
○中村俊介 田中久治 渡辺健次 岡崎泰久（佐賀大学）
  23. 学習支援者のための数理的説明文評価支援システムの開発  
○豊田将士，川本佳代（広島市立大学），新井紀子（国立情報学研究所）

=====

教育システム情報学会  
JSiSE2010 年度 特集論文研究会 開催報告

=====

担当：編集委員会 林雄介， 研究会委員会／編集委員会 小西達裕，西野和典

◆テーマ◆実用的 eラーニング環境の構築と運用

■ 開催日：2011年3月19日（土曜日）

■ 会場：九州工業大学 飯塚キャンパス（〒820-8502福岡県飯塚市川津 680-4）

■ 発表件数：24件 / 参加者数：約100名

特集論文研究会は、2010年3月19日に九州工業大学飯塚キャンパスにおいて第6回研究会（テーマ：情報教育の国際化/一般）と共同開催されました。この研究会は他の研究会とは異なり、2011年度の学会誌特集号への投稿を促進することを目的とし、前年までと同様に、特集号と同じテーマで発表を募集すると共に、希望者には研究会委員会と編集委員会からのコメントの提供を行いました。今回は震災直後ということで開催を危ぶまれましたが、発表者への確認や理事会での協議により、参加できる方だけで開催させていただきました。残念ながら5件の発表につきましては発表者が震災のために残念ながら参加できなかったのですが、参加可能であった発表者からはテーマに沿った大学などで実際に運用されているシステムの発表が多くありました。通常よりも長いディスカッションの時間を十分に利用して各発表で活発な議論が展開され、各発表者は特集号への投稿の弾みになったと思われますし、来年度の特集号が質的にも量的にもとても充実したものになることを予感させる研究会となりました。

## ■プログラム報告

1. 国家試験対策 e-ラーニングシステム  
○知念正剛（福岡医療短期大学）、金崎信夫（福岡歯科大学）
2. ゲームニクスによる革新的LMSインターフェースの開発  
○井ノ上憲司（長崎大学）、鈴木克明（熊本大学）
3. 異なる簡易VR学習環境下における学習効果の差異に関する研究  
○鈴木貴大、松永信介、稲葉竹俊（東京工科大学）
4. スパイラルカリキュラムによるソフトウェア工学e-learning 教材の開発  
○山崎進（北九州市立大学）
5. コースポートフォリオの作成および活用を目的とした教育支援システムの開発  
○古賀掲維、藤井美知子、丹羽量久（長崎大学）
6. 学習状況把握を考慮したExcelマクロによる学習支援システムの構築  
○竹上健（高崎商科大学）、筒井寛（熊本県立球磨商業高校）
7. VOD型 e-ラーニングの実践環境の構築  
○古賀崇朗、藤井俊子、中村隆敏、角和博、高崎光浩、大谷誠（佐賀大学）、  
江原由裕（九州龍谷短期大学）、梅崎卓哉、米満潔、久家淳子、時井由花、河道威、  
本田一郎、原口聡史、永溪晃二、田代雅美、穂屋下茂（佐賀大学）
8. 大学コンソーシアムでの同期型遠隔授業の環境構築と実践  
○米満潔、古賀崇朗、永溪晃二、高崎光浩、穂屋下茂（佐賀大学）
9. 大学間での共通基盤としての利用を想定したeラーニング教材配信の実践  
○杉山秀則（放送大学）、小松川浩（千歳科学技術大学）、仲林清（千葉工業大学）
10. 初等中等教育におけるeラーニング活用教育モデルの構築と検証  
○長谷川理、大井岳（千歳科学技術大学）、大西智彦（千歳市立富岡中学校）、渡部峰生（旭川実業高校）、  
今井順一、小松川浩（千歳科学技術大学）
11. e-learningを活用した児童用指文字学習環境の開発と評価  
○楠房子（多摩美術大学）、稲垣成哲（神戸大学）、生田目美紀（筑波技術大学）、  
杉山はるか（神戸市立本庄小学校）、黒田秀子（神戸大学附属小学校）、寺野隆雄（東京工業大学）
12. クラウドサービスを利用した e-ラーニングシステムの構築に関する一考察  
○佐藤豊（サレジオ工業高等専門学校）
13. 複数機関での利用を想定したeラーニング環境の構築と運用支援体制について  
○水元明法（大学コンソーシアム石川 e教育支援センター）
14. 理工系学部の学習体系を踏まえた全学的なICT活用モデルの構築と運用評価  
○ 山川広人、長谷川理、丹野清志、小澤祐也、立野仁、小松川浩（千歳科学技術大学）
15. 中学生向け合唱練習用eラーニングシステムの開発  
○本田雅治、古谷将、松永信介、稲葉竹俊（東京工科大学）
16. 内部質保証に向けた学生TAと同僚教員によるピアレビューの実践  
○加藤由香里（東京農工大学）
17. 気付きを誘発するポートフォリオ情報視覚化機能のMoodleプラグイン実装  
○中河祐貴、玉野健一、橋本喜代太、瀬田和久（大阪府立大学）
18. 論述力支援を指向したBlended Learning環境のデザインとフィードバック効果の検討  
○奥田麻衣、平嶋宗（広島大学）
19. 顔画像認識を利用した学習履歴提示システムの構築  
○正司哲朗（奈良大学社会学部）
20. 神戸製鋼グループにおける全社員を対象とした業務知識教育でのeラーニング適用  
○福村 修士、宗 陽一郎（株）神戸製鋼所
21. 製造現場における技能継承活動支援のためのeラーニング活用事例  
○江部宏典、宗陽一郎、前田昌宏、宮長貞行、宮原一（株）神戸製鋼所
22. Moodleにおける教授者用の課題分析図作成ツールの開発  
○高橋暁子、喜多敏博、中野裕司、鈴木 克明（熊本大学）
23. 大学間連携e-learningシステムの開発と運用  
○阿部一晴（京都光華女子大学）、森川知史（京都文教短期大学）、小波秀雄（京都女子大学）、  
都築英明（明治国際医療大学）、坪内伸夫（京都産業大学）
24. 遠隔補習支援システムを利用した「寄り添い教育」を目指す実践と評価  
松内尚久、○西内悠祐、芝 治也、山口 巧（高知工業高等専門学校）、妻鳥 貴彦（高知工科大学）



**募集!!**

## 論文特集 実用的 e ラーニング環境の構築と運用

当学会では e ラーニングを「教育・学習に ICT(Information Communication Technology)を用いて、その効率や効果を高めるものとして広くとらえております。今までにも、国内外において e ラーニングのシステム、特に LMS(Learning Management System)に関する研究・開発・実践についての報告は多くなされてきました。中でも e ラーニングの優れた実践に関しては、関連学会のみならず、現代的教育ニーズ取組プログラム(現代 GP)、特色ある大学教育支援プログラム(特色 GP)において、教育機関での成果が多くの報告がなされているのと同時に、様々な企業においてシステム開発や社内教育での運用実績が積み重ねられています。このように、多くのシステムが開発され、多くの優れた実践が報告されているにもかかわらず、国際的には日本の e ラーニングの普及率は極めて低い状態にあるとの評価を受けているようです。これは、これらの優れた研究や実践の成果が広く共有されていないことが大きな理由として考えられます。そこで当学会では、大学などの高等教育機関に限らず、初等中等教育機関または企業での e ラーニングの運用や、実施体制などをも含む優れた実践を共有し、我が国の e ラーニングの効果的な導入・利用を促進することを目的として、本論文誌 27 巻 1 号の「e ラーニング環境のデザインと実践運用」特集に引き続き、実用的な e ラーニング環境のデザイン、実践・運用に関する特集号を企画いたしました。奮って、ご投稿をお願いいたします。

### 1. 対象分野

本特集の特徴は、e ラーニングに関係するシステムの開発やそれらの利用・評価にとどまらず、以下のような e ラーニングを導入するにあたって必要不可欠な課題やポイントを網羅するようなトピックスに関する論文を歓迎する点にあります。e ラーニングを効果的に実施するための環境の整備、デザイン、運用モデル、実施体制(規約等の整備を含む)、実践・評価、コンテンツの開発方法、コンテンツの開発体制、e ラーニングの質保証、e ラーニングによる能力保証、国際標準化対応のための方策、学習の動機付け、ファシリテーションなど。無論、これらに限定するものではありません。また対象領域としては、高等教育、初等中等教育に限定せず、企業内教育等の産業界での応用、生涯学習、人材育成分野からの投稿も歓迎いたします。

### 2. 論文種別

通常と同様、すべての種別の論文を募集します。なお、査読結果により、異なる種別での採録となる場合もあります。また、編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

### 3. 投稿要領

一般の論文投稿規定に準じます。以下、web 投稿の際の注意点です。

#### ■全ての方へ

「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。

#### ■特集研究会「実用的 e ラーニング環境の構築と運用」で発表を行った方へ

投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、研究会での題目と発表番号を記載して下さい。

### 4. スケジュール

投稿原稿締め切り：2011 年 4 月 27 日 (水)

掲載予定：2012 年 1 月 1 日発行予定の学会誌

### 5. 問い合わせ

・学会誌編集委員会特集号幹事 林 雄介  
e-mail : hay@icts.nagoya-u.ac.jp

・Web 投稿に関する問合せ先 教育システム情報学会編集事務局  
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献印刷社  
電話 : 03(5389)6492 e-mail : jsise-edit@bunken.co.jp

**募集!!**

**教育システム情報学会  
英文誌論文募集**

(Vol. 10, No. 1, 2012年2月発行予定)

教育システム情報学会では、2002年度から年1回定期的に英文誌を発行しています。これまでに発行してきました英文誌は、質・量ともに「教育とコミュニケーション技術」に関する世界レベルの内容となりました。このたび、Vol. 10に掲載する論文を募集いたします。是非、多くの方々にご投稿いただき、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただきたいと思っております。

下記の要領に沿って、ご投稿いただきますよう、お願いいたします。

●論文種別●

原著論文(Original Paper), 実践論文(Practical Paper),  
ショートノート(Short Note), 実践速報(Report on Practice)

●投稿締切● ※2回に分けて論文を受け付けます!

第1回締切: 2011年3月31日 <終了>

第2回締切: 2011年6月4日

第2回締切までにご投稿いただいたものに関しては、  
Vol. 10, No. 1 (2012年2月発刊予定) への掲載対象となります。

●投稿要件●

- ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
- ・寄稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員である場合には投稿料に会員の価格が適用されます。寄稿者が2名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも1名が会員であれば、投稿料に会員価格が適用されます。

●原稿執筆要領●

英文論文誌もしくは下記の URL を参照してください。

[http://www.jsise.org/e\\_journal/ejournal.html](http://www.jsise.org/e_journal/ejournal.html)

●投稿方法● ※電子投稿システムを利用して投稿を行ってください

- ・下記 URL より電子投稿用 Web ページにアクセスしてください。

[https://www.wdc-jp.biz/jsise/journal\\_e/applicant/login.html](https://www.wdc-jp.biz/jsise/journal_e/applicant/login.html)

- ・初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行ってください。
- ・投稿論文は印刷イメージに近い書式で PDF ファイルとして作成し、アップロードしてください。

●問い合わせ先● ※メールにてお問い合わせ下さい

**教育システム情報学会編集事務局**

株式会社国際文献印刷社内

教育システム情報学会 編集事務局 担当: 長澤

住所: 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19

電話: 03 (5389) 6492 FAX: 03 (3368) 2827

メールアドレス: [jsise-edit@bunken.co.jp](mailto:jsise-edit@bunken.co.jp)

## 国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

### 新着情報：1 件

☞ ICCE 2011: The 19th International Conference on Computers in Education

- 開催期間：November 28 to December 2, 2011
- 開催地：Chiang Mai, Thailand
- URL：<http://www.nectec.or.th/icce2011/>
- 論文投稿スケジュール：  
Full/Short/Poster papers submission deadline: May 13, 2011

### 再掲情報：4 件

☞ ED-MEDIA 2011:

World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia & Telecommunications

- 開催期間：June 27 - July 1, 2011
- 開催地：Lisbon, Portugal
- URL：<http://aace.org/conf/edmedia/>
- 論文投稿スケジュール：  
Call for Presentations: Due April 12, 2011

☞ E-LEARN 2011:

World Conference on E-Learning in Corporate, Government, Healthcare & Higher Education

- 開催期間：October 17-21, 2011
- 開催地：Honolulu, Hawaii
- URL：<http://aace.org/conf/elearn/>
- 論文投稿スケジュール：  
Call for Presentations: Due April 22, 2011

☞ APTEL 2011: Asia-Pacific Conference on Technology Enhanced Learning 2011

- 開催期間：August 12-14, 2011
- 開催地：Xi'an, China
- URL：<http://elearning.teldap.tw/aptel2011/>
- 論文投稿スケジュール：  
Paper Submission Deadline: May 1, 2011

☞ mlearn2011: 10th World Conference on Mobile and Contextual Learning

- 開催期間：October 18-21, 2011
- 開催地：Beijing, China
- URL：<http://mlearn.bnu.edu.cn/>
- 論文投稿スケジュール：  
Full Paper Submissions: May 5, 2011

■□■□■□■2011年度 研究会開催予定■□■□■□■

日 時	テ ー マ / 会 場	担 当
第1回研究会 2011年5月27日(金) (2日間) 28日(土)	テーマ:eラーニング環境のデザインと組織マネージメント/ 医療・看護・福祉分野におけるICT利用教育/一般 会 場:キャンパスイノベーションセンター(港区芝浦)	仲林, 石打, 松居, 北村
第2回研究会 2011年7月9日(土)	テーマ:ICTを活用した学習支援と教育の質保証/一般 会 場:千歳科学技術大学	不破, 小松川 野崎, 布施
第3回研究会 2011年9月3日(土)	テーマ:教育機関等連携を支援する教育システムの設計・ 構築・運用/一般 会 場:香川大学	林, 伊東, 小西
第4回研究会 2011年11月12日(土)	テーマ:協調的学習とその支援技術/一般 会 場:名古屋大学	平嶋, 柏原, 小尻, 曾我
第5回研究会 2012年1月21日(土)	テーマ:ネットワークコンピューティングとこれからの教育・ 学習環境/一般 会 場:鹿児島大学	佐々木, 永森 三石
第6回研究会 2012年3月17日(土)	テーマ:情報教育と社会人基礎力/一般 会 場:摂南大学	松永, 西野, 西端

◆◇ 研究報告バックナンバーのお求めは ◇◆

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。1部1,300円(送料共)です。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp

URL : http://maf.mycom.co.jp

■なお、JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000円/年6回発行<送料込>

# 新入会員の紹介

下記の皆様方が、新しくご入会されました。(敬称略)

## ○新入会正会員・準会員

(2011.1~3)

会員番号	名前	所属機関	所属部署	会員種別
JSiSE-A1003047	津久井修司	(株) 東京グッドライフアカデミー		準会員
JSiSE-A1003048	飯村伊智郎	熊本県立大学	総合管理学部 総合管理学科	正会員
JSiSE-A1003049	鷹野孝典	神奈川工科大学	情報学部 情報工学科	正会員
JSiSE-A1003050	辻 高明	京都大学	情報学研究科	正会員
JSiSE-A1003051	寶理翔太郎	東京農工大学	工学部 中川研究室	準会員
JSiSE-A1103052	佐藤 豊	サレジオ工業高等専門学校	一般教育科	正会員
JSiSE-A1103053	神崎秀嗣	京都保健衛生専門学校	臨床検査学科	正会員
JSiSE-A1103054	藤原 稔	大阪府立大学大学院	理学系研究科 情報数理科学専攻	準会員
JSiSE-A1103055	金子徹哉	創価大学	教育学習活動支援センター	準会員
JSiSE-A1103056	山崎 進	北九州市立大学	国際環境工学部情報メディア工学科	正会員
JSiSE-A1103057	中野健秀	大阪国際大学	現代社会学部	正会員
JSiSE-A1103058	酒井浩二	京都光華女子大学	キャリア形成学科	正会員
			正会員	8
			準会員	4

## ★☆☆年会費納付のお願い☆☆★

2011年度の年会費の請求書は、4月中旬ごろの発送を予定しております。もう少々お待ち下さいますよう、お願い申し上げます。

また、2010年以前の会費の未納につきましては、本年度分と一緒に請求させていただきますので、ご入金の際よろしくお願ひいたします。未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。未納のある会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても随時受け付けておりますので宜しくお願ひ致します。詳しくは、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

**JSiSE 事務局 E-mail : secretariat@jsise.org**

※ご登録いただいております情報に変更がございましたら、事務局までご連絡ください。

ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

### ◎振込先◎

■銀行名：ゆうちょ銀行  
 ■支店名：019店  
 ■当座預金：0709632 ※郵便貯金 00180-6-709632  
 ■口座名義：教育システム情報学会

■銀行名：池田泉州銀行  
 ■支店名：上新庄支店 (222)  
 ■普通預金：13440  
 ■口座名義：教育システム情報学会 家本 修

### ◎年会費のご案内◎

■正会員：7,000円  
 ■準会員：4,000円  
 ■企業・団体会員：50,000円  
 ■研究報告年間購読：4,000円  
 ■入会金：1,000円 (初年度のみ)